

1. 基本情報

- (1) 国名：フィリピン共和国（以下、「フィリピン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ダバオ市（人口約 178 万人）
- (3) 案件名：ダバオ市治水対策計画（Davao City Flood Control Project）
- (4) 計画の要約：本計画は、ダバオ市においてダバオ川の河道浚渫及び湾曲部の捷水路の整備、並びに遊水地整備等を実施することにより、ダバオ市の洪水被害の軽減を図り、もって同地域の水害に対する脆弱性の軽減及び生活・生産基盤の安定等に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

我が国はこれまで、フィリピンの防災分野に大きく貢献してきており、現在も、マニラ首都圏やカビテ州で当該分野に関する資金協力事業を実施中であると共に、技術協力と資金協力を組み合わせ、防災分野におけるリスク管理能力向上にも取り組んでいる。また、2023 年 2 月に開催された日・フィリピン首脳会談において両首脳は、ダバオ治水対策マスタープランに基づく新規案件形成についてコミットしており、フィリピンの災害リスク軽減及び治水対策における我が国による支援への期待は大きい。

我が国の対フィリピン国別開発協力方針（2023 年 9 月改定）では、フィリピンの「包摂的で強靱な成長のための人間の安全保障の確保」に向けた支援を重点分野と位置付け、脆弱性の克服及び生活基盤の安定・強化を図るため、自然災害を含む気候変動などの社会課題解決等に対する協力を実施する方針を明記しており、本計画は同方針に合致している。また、更なる二国間関係の強化の観点からも重要であり外交的意義は大きい。

- (2) 当該国における防災セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置づけ

ダバオ市は、全国第三位、かつミンダナオ島では最大の人口を擁する都市であり、従来、台風の進路からは外れていたため洪水被害が比較的少ない地域であったが、近年は台風の進路に入ることが増え、ダバオ市を含む第 11 管区（ダバオ地域）において洪水被害が多発している。2012 年には台風パブロにより約 480 万人の被災者、経済被害額約 890 億円の甚大な被害が発生しており、その後も 2017 年、2021 年に数万人規模の被災者を伴う大型台風が同地域を襲来している。ダバオ市では、市内を流れるダバオ川、マティナ川、タロモ川流域にかかる総合治水対策マスタープランが策定されていなかったため、JICA は「ダバオ市治水対策マスタープラン策定プロジェクト」（2018-2023 年）にて、治水対策マスタープランの策定及び優先事業の検討支

援を行った。同マスタープランでは、ダバオ川の①河道浚渫、②湾曲部の捷水路の整備、③遊水地整備を行う本計画が優先事業として選定された。

本計画は、ダバオ川の河道浚渫及び捷水路の整備、並びに遊水地整備等を行うことで、概ね 10 年確率の洪水からダバオ川流域を保護し、ダバオ市における洪水被害軽減を図るものである。フィリピン国家経済開発庁は「ビルド・ベター・モア」政策を象徴する、インパクトが大きく緊急性の高いインフラ旗艦プロジェクト（Infrastructure Flagship Project）として、当国の最重要事業の一つとして位置付けている。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

①計画内容：

ア) ダバオ川の河道浚渫

イ) ダバオ川湾曲部における河道捷水路

ウ) 遊水地 3 箇所の整備

エ) コンサルティング・サービス（詳細設計の確認、入札補助、施工監理、ハザードマップ作成等非構造物対策計画策定・実施支援、環境管理・モニタリング補助、住民移転支援・モニタリング、実施機関等への技能訓練等）

②期待される開発効果：ダバオ川の河道浚渫及び湾曲部の捷水路の整備、並びに遊水地整備等を実施することにより、ダバオ市（約 178 万人）の洪水被害の軽減を図り、もって同地域の水害に対する脆弱性の軽減及び生活・生産基盤の安定等に寄与することが期待される。

③借入人：フィリピン政府（The Government of the Republic of the Philippines）

④計画実施機関／実施体制：公共事業道路省（Department of Public Works and Highways : DPWH）

⑤他機関との連携・役割分担：特になし。

⑥運営／維持管理体制：実施機関と関係機関により構成される洪水対策委員会（Flood Mitigation Committee。以下、「FMC」という。）を設立し、関係機関の協議を推進する。また、用地取得や維持管理等については、実施機関、地方自治体、その他関係機関と連携する。加えて、統合的水資源管理の観点から環境天然資源省水資源管理室等とも連携する。また、利害関係者に施設の運用・維持管理についての適切な情報提供がなされる体制を、DPWH を中心として構築する。

(2) その他特記事項：

- 環境社会配慮力カテゴリ分類：A
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 本計画ではダバオ川流域の外水対策を実施するが、内水対策については 1982 年に

世界銀行が、Agdao、Dacudao、Lanang、Mamay Creek 地区を対象排水区として、2 年確率の雨水排水マスタープランを策定し、その後排水路が整備された。

- 本計画で活用される技術については、協力準備調査の中で検討を行う。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

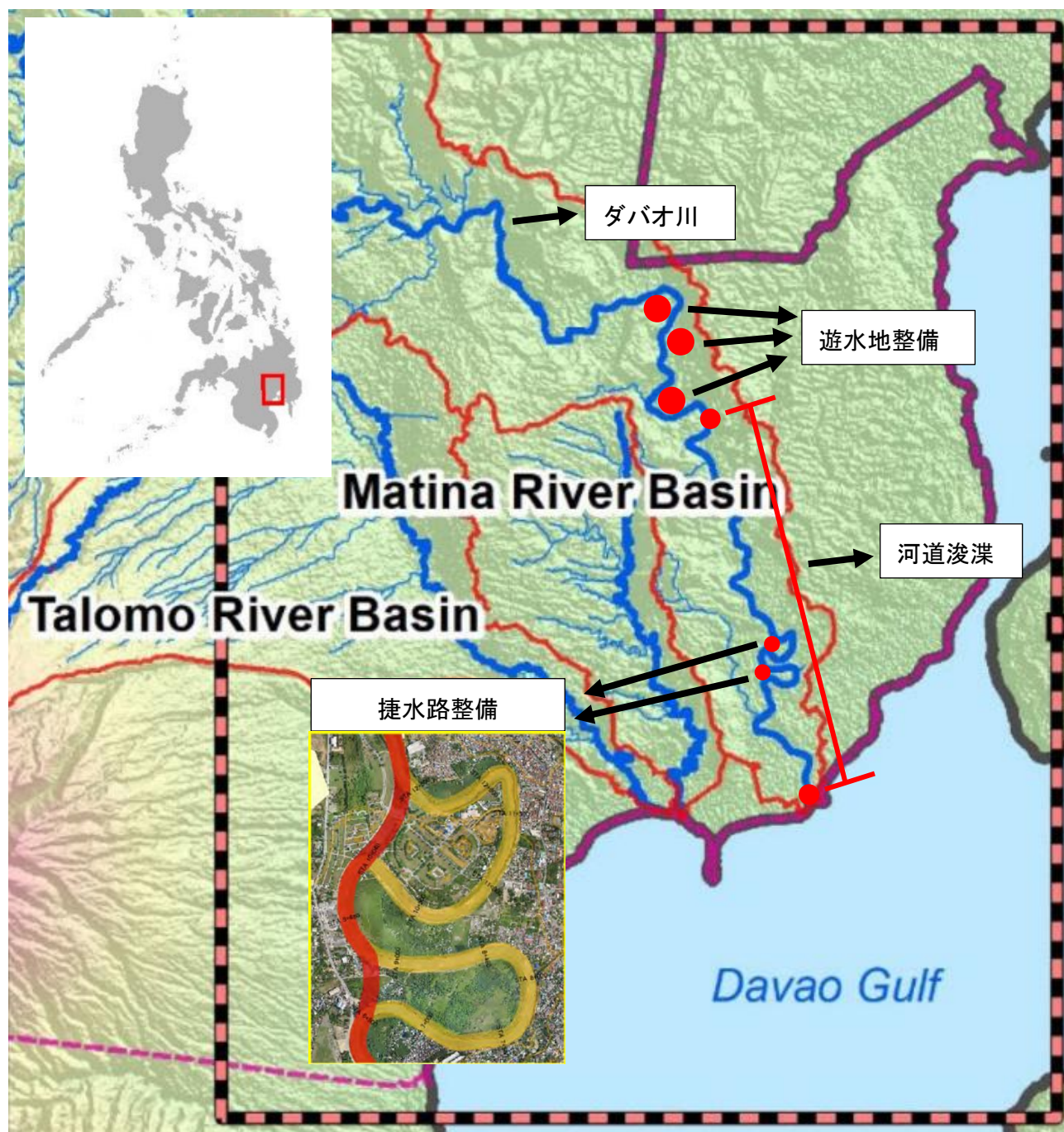
フィリピン向け有償資金協力「メトロマニラ西マンガハン地区洪水制御計画」（評価年度 2010 年）の事後評価結果等では、事業の円滑な実施のためには、用地取得や維持管理体制に関して、事業の早期段階から実施機関、地方自治体、その他関係機関の業務分担（財務含む）を明確にする必要があるとの教訓が得られている。また、フィリピン向け無償資金協力「第二次オルモック市洪水対策事業計画」（評価年度 2005 年）の事後評価等では、同教訓の好事例として、事業の早期段階で FMC が設立され、各機関の業務分担が明確化されるとともに、必要予算が確保されたこと等により、適切な維持管理が実施されたことが確認されている。

本計画では大規模な用地取得に伴う住民移転が必要であるため、関係機関や関係自治体と役割範囲を明記した覚書を関係者間で締結し、早期に住民移転に関する対応を進めていくとともに、FMC を設立・運営し、関係機関の協議を推進していく予定。

以 上

〔別添資料〕地図 「ダバオ市治水対策計画」

地図 「ダバオ市治水対策計画」



出典：「ダバオ市治水対策マスタープラン策定プロジェクト ファイナルレポート」
より JICA 作成